

玉名市議会議員 30人が誕生



第1期 玉名市議会議員

後列左から 中尾嘉男、前田正治、江田計司、作本幸男、近松恵美子、福嶋譲治、
横手良弘、宮田知美、萩原雄治

中列左から 青木 壽、内田靖信、大崎 勇、北本節代、永野忠弘、多田隈保宏、
松本重美、高村四郎、森川和博、竹下幸治

前列左から 高木重之、吉田喜徳、小屋野幸隆、杉村勝吉、田畑久吉(副議長)、
松田憲明(議長)、中川潤一、堀本 泉、田島八起、本山重信、林野 彰
(敬称略)

平成17年11月13日投票による玉名市議会議員一般選挙が行われ、30名の新玉名市初代市議会議員が誕生しました。

今般の選挙のみ、議員定数は30名ですが、次回選挙から26名となります。議会についての紹介等については、ホームページ等でも公表しておりますのでご覧ください。

平成十七年第一回玉名市議会（臨時会）で新議長に松田憲明氏、副議長に田畑久吉氏が選出されました。また、各常任委員等の構成が決まりました。

新生玉名をあなたとともに



議長 松田 憲明

平成十七年十月三日、旧玉名市・岱明町・横島町及び天水町が合併し、人と自然が輝く県北の拠点都市を目指し、新生玉名市として新しく発足しました。去る十一月二十八日の臨時議会において初代市議会議長に選任をいただき、

責任の重さを痛感しております。新しく誕生した玉名市は、これまで、先人の方々の心血を注いだ懸命のご努力により、それぞれの市、町の地域の特色を生かした、すばらしいまちづくりが展開されてきました。合併により、今後は九州新幹線の開通を踏まえた地域振興策や、農漁業振興をはじめ産業基盤の整備、更に地方分権時代に即した行政体制の強化、或いは少子高齢化の進展等に対すべき、多岐にわたる課題が山積しております。

このような状況に鑑み、議会といたしましては、自己決定、自己責任を基本とする地方分権時代の精神を持って何が必要で何が不要かを的確に判断し、新市建設に向け、執行部と議論を重ねながら協調を図り、その任務を果たしてまいりたいと思っております。いろいろな問題についても市民の皆さんと共に考え、共に歩み市発展に努力する所存でありますのでよろしくお願ひ申し上げ、議長就任の挨拶と致します。

改革は地方議会から
—市民の声を生かし—



副議長 田畑 久吉

十月三日一市三町の合併により、新生玉名市が誕生致しました。十一月二十八日第一回玉名市議会臨時議会に於いて議会の推挙を受け副議長の要職に就くことになり初代副議長として新市の歩み出しの重要な時期であり新たな責任

を感じております。先ずは議員として、市民の代弁者として、市民の負託に応えるのが基本であり、「市民の声を市政に生かす」「改革は地方議会から」が私のスローガンであり政治理念であり生活信条でもあります。私の奉仕活動の精神が理念の基礎となっております。新生玉名市は熊本県下で第三番目の人口を有する市であり県北の拠点都市として未来を見据えた早急な新市計画が必要であります。新市の産業分布構成から見ても

農業、漁業の振興策を初めとして、少子高齢化対策の子育て支援の充実、産業基盤の地域振興策、玉名バイパスの開通、九州新幹線開通に供う新玉名駅周辺の整備など課題が山積しております。このような現況を的確に判断して、新市建設に向け議会は行政のチェック機能を十分に果たし活発な議会審議を行って市民の期待と信頼に応える議会運営に努めて参ります。

各常任委員会等の構成委員の紹介

(◎は委員長、○は副委員長、敬称略)

◆総務常任委員会

- ◎高山重信
- 内田靖吉
- 田畑久隆
- 小野幸弘
- 松野憲明
- 杉村勝一
- 中川潤一

◆議会運営委員会

- ◎高木四郎
- 作本幸男
- 北本節信
- 内田靖弘
- 永野忠信
- 小野幸隆
- 杉村勝吉

◆産業経済委員会

- ◎永野忠弘
- 大崎美子
- 近松恵美
- 福嶋治
- 青木讓治
- 森川重美
- 松本重美

◆有明広域行政事務組合議会議員

- 横手良弘
- 近松恵美
- 福嶋治
- 松野重美
- 林野彰

◆建設委員会

- ◎中尾嘉弘
- 横手幸治
- 竹下幸治
- 高村四郎
- 林野彰
- 田島八
- 堀本泉

◆玉名市玉東町病院組合議会議員

- 大江司
- 多田保宏
- 高木重之
- 吉田喜徳
- 小野幸隆
- 中川潤一

◆文教厚生委員会

- ◎作本幸男
- 宮本美男
- 萩原雄治
- 北本節代
- 前田正治
- 江田計司
- 多田保宏
- 吉田徳

◆議会選出監査委員

- 堀本泉
- 志水たか子
- 志水たか子
- 堀本洋子
- 竹下幸治
- 森川和博

◆農業推薦

- 農業委員会委員
- 志水たか子
- 堀本洋子
- 竹下幸治
- 森川和博